

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15125

小学校改築事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	4	安全・安心な教育環境の整備
施策	1	安全・安心な教育環境の整備
取組方針	2	学校教育環境の整備

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	教育施設課	別院 雅之 435-1136
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)			全体事業概要		
	児童等の安全を守り、安心して機能的かつ豊かな教育環境を確保するとともに地域住民の安全と安心の確保に資する。			小学校施設の改築、改修等		
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・広瀬、吹上小ブロック塀改修工事 ・紀伊小屋外プール改修工事設計 業務委託 ・山口小測量登記委託料 ・小学校空調設置工事 ・トイレ改修工事5校 ・校舎外壁改修工事2校 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修工事10校 ・ブロック塀改修工事 ・紀伊小屋外プール改修工事 ・雄湊小プールのろ過器移設 ・貴志南小外1校外壁調査業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・安原小プール改築工事設計業務委託 ・安原小校舎増築工事設計業務委託 ・雑賀小木造校舎解体工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・安原小校舎増築 ・岡崎小地質調査業務委託 ・雑賀小公共下水道切替工事設計業務 ・有功小昇降路整備 ・野崎西小照明器具取替 ・雑賀小外2校ブロック塀改修 ・紀伊・野崎西小屋上防水 ・安原小物置解体及び新築 ・安原小既設プール解体撤去 		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	67,539	3,515,734	494,373	617,149	83,218	2,253,137	318,810	0	318,810	0
伸び率(%)	△45.6%	3,188%	632%	△82.4%	△83.2%	265.1%	283.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	97,387	97,387	55,705	55,705	65,399	65,399	69,104	0	69,104
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	97,387	97,387	55,705	55,705	65,399	65,399	69,104	0	69,104
国庫支出金	675	743,869	46,797	142,412	0	523,152	26,781	0	26,781	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	9,000	2,684,900	362,100	412,700	79,600	1,718,400	288,100	0	288,100	0
その他	3,033	53,289	83,612	60,138	81	8,071	58	0	58	0
一般財源(税等)	54,831	33,676	1,864	1,899	3,537	3,514	3,871	0	3,871	0
所要人数(人)	正規職員	12.21	12.21	6.97	6.97	8.12	8.12	8.58	0.00	8.58
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	校舎増改築工事請負費167,244千円 整備工事請負費70,660千円 解体撤去工事請負費44,594千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
事業対象校数(義務教育学校含む)		校	目標値					
			実績値	51	13	49		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
トイレ洋式化率		%	目標値	30.7	36.2	55.4	58.1	
			実績値	30.7	36.2	55.4		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
空調設備設置状況(普通教室、特別教室等)		室	目標値					
			実績値	165	1196	1243		
			達成度(%)	%	%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	普通教室への空調設置事業は平成29年度に完了したが、既設空調設備の老朽化による更新や、各学校施設のトイレの洋式化及び男女別化を進め、学校教育環境の改善を継続的に図る必要がある。また、非構造部材の耐震化などの防災機能強化事業等、整備すべき課題は多く残っている。
見直し・改善内容	今後、長寿命化にかかる個別施設計画を策定し、中長期的な維持管理に係るトータルコストの削減と予算の平準化を図る予定だが、施設の老朽化が進む中で事業のニーズも増加すると思われるため、内容的にもコスト面においても拡大が見込まれる。